

2016年2月25日

株式会社東京個別指導学院
代表取締役社長 齋藤勝己
(コード番号 4745・東証第一部)

東京証券取引所「企業価値向上表彰」において、 当社は「企業価値向上経営を実践している会社」として選定されました

株式会社東京個別指導学院（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：齋藤勝己）は、株式会社東京証券取引所（以下、「東証」）が実施する2015年度「企業価値向上表彰」において、「企業価値向上経営を実践している会社」として選定されました。

「企業価値向上表彰」は、東証が市場開設者としての立場から望ましいと考える企業価値向上を目指した経営の普及・促進を図ることを目的として、今年度で4回目を迎えております。高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践している上場会社を表彰するものであり、この度、東証市場の全上場会社（約3,500社）より、本表彰の一次選考において選抜されたのち二次選考対象となった上場会社（約50社）が「企業価値向上経営を実践している会社」として公表され、当社はこれに選定いただきましたので、お知らせいたします。



当社は昨年8月に、創業30周年を迎えました。～「子どもたちが自信を持ち、夢や目標にチャレンジできること、そして、この主体的な成長努力を私たちがホスピタリティをもって支持すること。進路実現にとどまらず、その先の子どもたちが未来を生き抜く力を育むこと。」～ 創業からこれまでの30年、これからの未来、変わらず大切にしている信念のもと、当社の掲げる中期経営計画「Dynamic Challenge 2017」に基づき、経営基盤の強化・効率化と持続的な成長による企業価値向上を目指しております。中でも、投資対象としての魅力を高めるという観点で、配当性向や株主資本コスト、ROE（自己資本利益率）指標などを強く意識して企業価値向上経営に取り組んでいます。

今後も、常に投資者の皆様視点に深く組み込んだ企業価値の向上を意識し、一層高いレベルでの「企業価値向上経営」の実践に努めてまいります。日頃より、当社をご支援いただいているお客様、株主様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様へ、心より御礼申し上げます。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

以上

■企業価値表彰 概要

○表彰対象となる会社：

高い企業価値の向上を実現している上場会社のうち、資本コストをはじめとする投資者の視点を深く組み込んだ企業価値の向上を目指す経営を実践している上場会社。

○表彰会社数：

大賞会社として1社を選定。優れた企業価値向上経営を実践している会社がある場合には、優秀賞として表彰する。

○選定プロセス：

以下に記載する方法に基づき、本委員会が選定を行う。なお、本年度は次の点について、選定プロセスの一部を変更する。

【主な変更点】全上場会社から400社程度を選抜する際に、これまでは「ROE」を用いていたが、本年度は「ROE」から「自己資本（株主資本）コスト」を差し引いて算出される「エクイティ・スプレッド」を用いることとする。

※「エクイティ・スプレッド」

企業価値創造の源泉は、投資者（株主、債権者など）の期待収益率、つまり資本コストを上回るリターンを獲得することにある。これを特に株主の視点から見ると、上場会社は会計上の利益が黒字であるだけでは十分でなく、「自己資本（株主資本）コスト」を上回る利益を計上して初めて企業価値を創造したと評価されることを意味している。こうした株主の視点から、上場会社が企業価値を創造しているか否かを判断する際に、判断尺度の一つとして利用されるのが、「ROE（自己資本利益率）」から「自己資本コスト」を差し引いて計算される「エクイティ・スプレッド」である。

ご参考：【企業価値向上表彰の選定プロセス】

